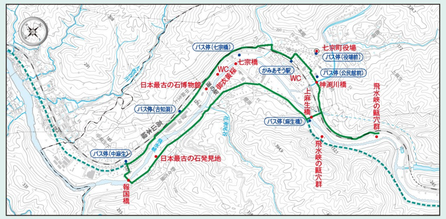
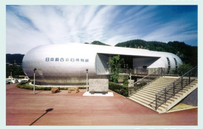
18. 七宗町「日本最古の石にふれるみち」7.2km




御衣黄桜


鍋穴群


日本最古の石発見地


日本最古の石博物館



みどころ

・御衣黄桜

道の駅ロック・ガーデンひちそう内のふれあいの里公園にあり、4月下旬より咲き始め、その花の色が、緑色から黄色、そして桃色への色を変えていくという珍しい桜です。

・鍋穴群（ポットホール）

国の天然記念物で、激流が長い時間をかけ固い岩を壺状に削り取ってできたもので、直径1m以上のものだけでも800個以上を数え、小さいものまで含めると、おそらくその2倍以上あるといわれています。

・飛水峡（ロックガーデン）

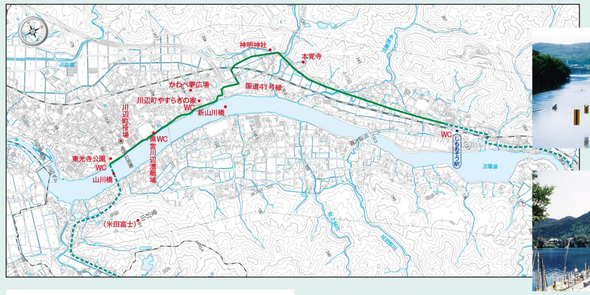
七宗町から白川町に至る約12kmの渓谷で、飛騨川が周辺の山地を嵌くえぐってできたもので、きれいな縞模様を持つ層状の硬い石が、この景観を一層引き立たせます。神秘的な大彫刻の趣を見せる奇岩、怪石、変化に富んだ景観は中国の那馬深にも劣らない美しさといわれています。

・日本最古の石発見地（日本最古の石博物館）

昭和45年（1907年）3月に飛騨川の河床から発見された礫岩は、岩石に含まれている小さな生物などから今から2.7億年前のものといわれています。更にこの礫岩に含まれている硅線石片麻岩について放射性同位元素による「年代測定」の結果、約20億年前にできたことがわかり、日本列島最古のものと判明しました。この礫岩は「上麻生礫岩」と名付けられました。

また、発見されたこの「日本最古の石」などをはじめ、宇宙の誕生から現在までの、地球の生い立ちをわかりやすく見られる映像があり地球の歴史を体感できます。

19. 川辺町「川辺ダム湖のみち」4.3km




県営川辺遊艇場


東光寺公園からの米田富士

みどころ

・かわべ夢広場

赤い橋（新山川橋）とダムの湖畔に位置する広場は、湧水のみちや花の斜面等がお誰でも楽しむことができます。

また、眺望テラスはボート競技等を観戦できる格好のスペースです。

・県営川辺遊艇場

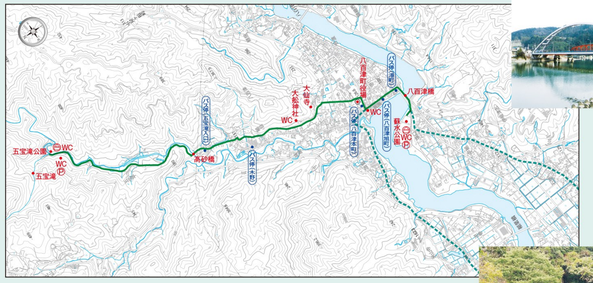
飛騨川の流れをせきとめ川辺ダム湖を利用して造られた遊艇場で、1レーンの幅が12.5m、延長が1,000mの直線コースでS-コースの日本遊艇協会公認の日級ボートコースになっています。恵まれた自然条件から全国有数のボートコースとして知られています。

・東光寺公園

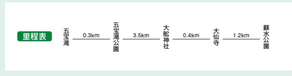
山川橋西詰めに位置する児童の憩いの場で、ダム湖に映える米田富士を眺める高台の絶景地で、湖岸の散策の休憩所としても利用されています。


かわべ夢広場

20. 八百津町「武蔵伝説探訪のみち」5.4km




八百津橋



みどころ

・八百津橋

ゆったり流れる木曽川にかかる緑色の橋で、山を背景に美しい曲線を描いています。

・大仙寺

この地方きっての大寺で、宮本武蔵が修行のため座禅を組んだという座禅石などの遺産が多く残っています。

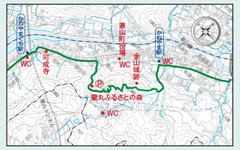
・五宝滝

一の滝44m、二の滝23m、三の滝13mと合わせて80mの大瀑流で、二天の滝、円明の滝が加わり五宝滝と言われています。渓谷に渡した太鼓橋の赤が水飛沫の白、樹木の緑とみごとに調和しており、真っ白な水煙を上げて流れる様は、疲れを忘れさせるほどさわやかなものです。

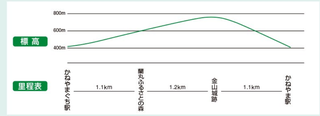

大仙寺


五宝滝

21. 可児市「森蘭丸の里めぐりのみち」3.4km




金山城跡



みどころ

・可成寺

金山城主森三左衛門可成が1579年に江州（滋賀県）宇佐山城の戦いで戦死した際に創建された森家菩提寺で、森蘭丸兄弟の墓も祭られています。

・金山城跡

1537年に古城山山頂に、斎藤正義が築城。その後、森三左衛門可成が入城し森家四代にわたり城主となりましたが、江戸期初頭に、国替えとなり木曽川を下り、犬山に移築されたと伝えられます。

・蘭丸ふるさとの森

飛騨木曽川国定公園の美しい渓谷を望む史跡金山城跡の麓には、自然に恵いきふれあうことのできるリフレッシュ空間として、開放感いっぱいの広場や自然林を生かした散策道、千本桜をはじめ四季折々の花が咲き、小鳥たちや虫たちが遊ぶ場所として整備されました。戦国の世の歴史ロマンをも秘めたこの森は、訪れた人の心に感動と癒しをきっと与えてくれることでしょう。


可成寺

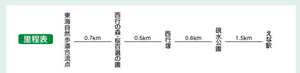

蘭丸ふるさとの森（森蘭丸産湯の井戸）

22. 恵那市「中山道十三峠のみち」3.5km





西行硯水公園



みどころ

・西行硯水公園

中野新田にある小公園で、硯水と呼ばれている小池があります。この池は、古くから所在が知られており、西行が硯で墨をするときにこの池の水を使ったという伝説があります。それで硯水と呼ばれています。

・西行塚

中山道に沿う小高い丘の上に建つ五輪塔があり、高さ1.3mほどで県内の五輪塔の中でも大きなものです。伝説によれば、西行は、晩年、恵那に立ち寄り、庵を結んで住み、死期を悟った時、杉ノ口への西行塚の場所に葬るように頼んだといわれています。この五輪塔は杉ノ連が西行のために建てたといわれています。

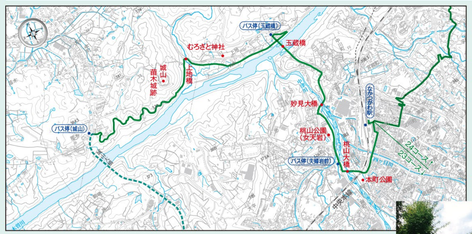
・西行の森・桜百選の園

西行の森は、平成元年に市政35周年を記念して、14.8haの土地に桜百種類136本が植えられており、桜百選の園として有名です。

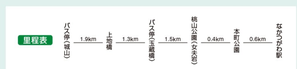
桜の種類は、ウコン、ヨコハナサクラ、サクヤヒメ、スズミサクラ等さまざまな種類が植えられており、4月上旬から5月上旬にかけて、多種多様の桜が咲き乱れ、見る人の目を楽しませ、ほのかな香りを漂わせてくれます。


西行の森・桜百選の園

23. 中津川市「奥恵那峡と苗木城跡へのみち」5.7km




桃山公園（女夫岩）



みどころ

・桃山公園（女夫岩）

園内には女夫岩があり、男女のシンボルを表す陰陽石、古代、イザナギノミコト、イザナミノミコトが人類の繁栄と幸福を願って据えたと伝えられています。女岩は高さ4m周囲30m、夫岩は高さ8m周囲24mのスケールを誇る全国でも類を見ない奇石には、安産と家内円満を願って多くの人が訪れます。

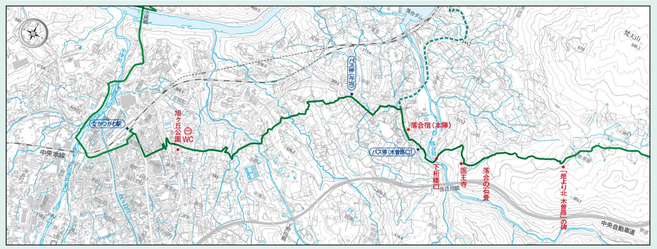
・苗木城跡

苗木城は別名高森城・赤壁城・霞ケ城とも呼ばれ、江戸時代は苗木遠山家12代の居城として明治維新まで使われた山城です。巨岩の上に建てられた天守や懸造による建築など、全国的にも珍しいものでした。

天守跡展望台からは恵那山や木曽川周辺、中津川市街地を一望できます。


苗木城跡

24. 中津川市「中山道集落の石畳を訪ねるみち」6.1km




落合宿・本陣



みどころ

・落合宿・本陣

落合宿は、中山道69宿の一つで、江戸板橋より44番目、美濃路の最東端の宿になります。また、美濃16宿のうち唯一旧本陣がそのまま存在しており歴史の面影を今に残しています。

・山中薬師（医王寺）

落合宿は十曲峠に近い中山道側にある必寺で、本尊の薬師如来は行基の作と伝えられ、虫封じの薬師として広く信仰を集めました。江戸時代には旅人相手に「きつね膏薬」をうり万病に特効があったと伝えられています。

奥庭の池の傍に芭蕉の“梅が香に　のっと日の出る　山路かな”の句碑があります。

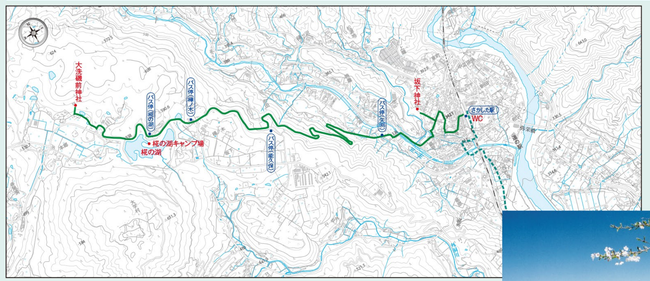
・「是より北 木曽路」の碑

岐阜と長野の旧県境。中山道の路傍にあり、昭和15年7月、当時68歳だった藤村が地元の要請によって揮毫したものです。


山中薬師（医王寺）

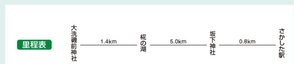

「是より北 木曽路」の碑

25. 中津川市「磯前神社大杉を訪ねるみち」7.2km




大洗磯前神社


桜の湖



みどころ

・坂下神社

伝統行事「花馬まつり」は、約800年前から伝わり、馬の眼の花を着いおう勇壮な祭りです。その花を田畑に立てておけば、五穀豊穣と無病息災がかなうといわれています。

・桜の湖

標高560mの高原の一角にあり、4月中旬から下旬にかけて桜が満開となり、桜祭りが行われます。夏になれば、湖畔に整備された65サイトのオートキャンプ場でゆったりと自然を満喫することができます。秋になれば湖畔の周辺に自生した桜の木の紅葉を楽しむことができます。その独特の美しさは目を見張るばかりです。そして冬の雪化粧もまた格別なものです。

四季折々の湖畔の表情を楽しむことができ、訪れた人の心を和ませてくれるはずです。

・大洗磯前神社

境内には、総檜造りのお堂（上野薬師堂）があり、室町時代に造られた薬師如来像が安置されており、その表情や彫りの美しさから第一級の文化財といわれています。また、高さ50m、樹齢1000年を超える大杉が天に聳えています。